

2年生 命の学習～生まれてきたことに感謝しよう～ を実施しました



○日時：11月30日（木）5・6時間目

○講師：柏市保健所保健師さん

主任児童委員さん

柏市民健康づくり推進員さん

民生委員さん

○内容：保健師さんからの講話

「思春期について・妊娠出産について」

妊婦ジャケット体験

赤ちゃん人形体験



～生徒たちからの感想（一部抜粋）～

- *自分が生まれてきたことや、きちんと成長できていることに改めて感謝をする場になりました。これからも思春期から目を逸らさずにきちんと向き合おうと付き合っていきたいと思います。
- *知っているのもあれば知らないものがあった命とはすごく尊いものなのだと気づきました。お母さんやお父さんがいないと自分は生まれてこなかったし、自分たちが生まれるのはどれだけ大変なのか、改めて思いました。自分も大きくなったらこんなに大変な思いしてやるのは不安だけど、いざ赤ちゃんが生まれたら可愛くてしょうがないなってなるんじゃないかなって思いました。
- *命について学習し、お互いを尊重する大切さなどを改めて学ぶことができた。これからはお互いのことを思い合って生活するのが大切なのだと思う。また赤ちゃんの扱いは大変なのだと実際に体験してよくわかったので改めて親に感謝したいなと思った。
- *妊婦ジャケットはとても重くて動きにくく、赤ちゃん人形体験では私達は人形でしたが、本当の赤ちゃんでは下手したら死んでしまうという緊張がたくさんあると思いました。その中で育ててくれた両親に感謝したいと思いました。
- *妊婦さんなどの体験や講義を受けて命の大切さやどうしたら命が宿るのかについてが深く理解できました。また他の友だちなどの相談などがあつた場合は信頼できる大人に相談するなどの措置を取れるようにしていきたいです。
- *いのちはとても大事なものなんだなと思った。相手も自分も大切にしていきたいと思った。



生徒の皆さん、ふざけることなく一生懸命に体験に取り組むことができました。また、講話も自分たちに関係のあることだと気づきながら聞くことができたようです。

いのちについての話はご家庭でもなかなか機会を設けることが難しいと思いますが、今回の体験・講話をきっかけに、感想をきいたり、保護者のかたの話をお話いただければ幸いです。